

3月 23-29日

イザヤ 48-49章

89 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 大谷優志 | 吉田忍

神の言葉の宝

1. エホバの教えに注意を払うことは私たちのためになる (10分) 梅原直行

エホバはご自分に仕える人たちを教える。(イザ 48:17。洞「教える者、教師、教える」3節)

私たちはエホバの教えに注意を払う必要がある。(イザ 48:18 前半。イ聖 記事 44 2-3 節)

そうすれば、私たちの平和は「川の流れるように豊かになり」、私たちの正しい行いは「海の波のように多くなる」。(イザ 48:18 後半。愛 199 ページ 8 節)



語句の説明 「平和」と訳されるヘブライ語には、健康、安全、福祉、友情という意味があり、完全にそろっていて何も欠けていないという考えも含まれる。

2. 宝石を探し出す (10分) 長谷川貴史

イザ 49:8 エホバはこう言う。「私は恵み(*善意)の時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。私はあなたを守り続けた。あなたを民のための契約として与えるために。土地を復興させ、荒廃した相続地を民に所有させるために。」

この預言が3回実現したと言えるのはどうしてか。

(洞「受け入れられる時」2-4節) コリント第二 6章 2節で、使徒パウロは次のように述べるイザヤ 49章 8節の預言から引用しています。「エホバはこのように言われた。『わたしは善意の時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。わたしは絶えずあなたを保護した。あなたを民のための契約として与えるためであった。それは土地を復興させ、荒廃した世襲所有地を再び所有させ(るためであった)』」。

①もともとの背景において、この言葉はイスラエル国民を代表する、もしくはそれを擬人的に表わす人としてのイザヤに対して言われたもののようです。(イザ 49:3) これは明らかに回復に関する預言で、イスラエル人がバビロンから解放された時に最初の成就を見ました。その時、イスラエル人の捕らわれ人たちに、「出よ!」という呼び声がかけられました。その後、彼らは故国に戻り、荒廃した土地を復興させました。—イザ 49:9。

②しかし、この章の8節の、「あなたを民のための契約として与えるため」という言葉、およびそれに先立つ6節の、「[神の]救いが地の果てに至るよう」このエホバの「僕」が「諸国民の光」とし

て与えられるという記述は、この預言がメシアに関するもの、したがって、神の「僕」としてのキリスト・イエスに適用されるものであることを明確に示しています。（イザ 42:1-4, 6, 7をマタ 12:18-21 と比較。）「善意の時」とはエホバがご自分の僕に「答え」、その者を『助ける』時ですから、それはイエスの地上での生涯に当てはまるに違いありません。その時イエスは「自分を死から救い出すことのできる方に、強い叫びと涙をもって、祈願を、そして請願をささげ、その敬虔な恐れゆえに聞き入れられました」。（ヘブ 5:7-9。ヨハ 12:27, 28; 17:1-5; ルカ 22:41-44; 23:46 と比較。）ゆえに、それは神ご自身のみ子にとって「救いの日」であり、その期間中にみ子は完全な忠誠を示し、結果として「自分に従う者すべてに対し、永遠の救いに責任を持つ者となりました」。—ヘブ 5:9。③そのうえ、この預言からのパウロの引用は、パウロが「神の過分のご親切を受けながらその目的を逸することがないように」と説き勧めたクリスチャンたちにもこの預言が適用されることを示しています。パウロは（イザ 49:8 を引用した後）その人々にさらにこう述べました。「見よ、今こそ特に受け入れられる時です。見よ、今こそ救いの日なのです」。（コリ二 6:1, 2）それらクリスチャンは西暦 33 年のペンテコステ以来、霊的な「神のイスラエル」となっていました。（ガラ 6:16）しかし、「受け入れられる時」が実際に「救いの日」となるためには、自分たちが神の過分のご親切に値することを証明する必要がありました。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

(48:10) 苦悩の溶鉱炉の中にいるような厳しい迫害もそれは私たちが精錬して、結局のところ益をもたらし、エホバへの専心の思いと愛の深さを示すことができるようになる。それでこの聖句からも、将来必ず経験する迫害も希望や喜びを保って忍耐できる力を、いただくことができた。

3. 聖書朗読（4分）イザ 48:9-20（教励 第 11 課） 阿部 直生

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 大谷 恵美子 愛込 5-3 柴田 さつき

(3分) 日常生活で。集会に来なくなった親族を特別講演と記念式に招待する。（[愛込 レッスン 5 ポイント 3](#)）

5. 再び話し合う 金刺 由里子 愛込 9-3 水品 由美子

(4分) 日常生活で。記念式への出席を考えている人に、式でどんなことが行われるかを話す。（[愛込 レッスン 9 ポイント 3](#)）

6. 再び話し合う 安齋 恵理 愛込 8-3 福永 和子

(5分) 日常生活で。記念式の話が終わった後、関心があって出席した人の質問に答える。（[愛込 レッスン 8 ポイント 3](#)）

クリスチャンとして生活する

[107 番の歌](#)

7.1 年で一番大切な日を有意義に過ごすために（15分）討議。 有田 悟

私たちは毎年記念式に出席します。そうすることで、イエスの命令に従い、贖いというエホバの贈り物に感謝を表すことができます。（[ルカ 22:19](#)）それだけでなく、記念式は私たちがエホバと

イエスからどれほど愛されているかを思い起こす機会ともなります。(ガラ 2:20。ヨハ 4:9, 10) どうしたら記念式に備え、エホバへの感謝の気持ちを深めることができるでしょうか。関心を持った人たちのためにどんなことができるでしょうか。

- (1) 記念式の時期に読む聖句の予定に沿って、聖書を読んでじっくり考える。
- (2) 贖いという贈り物がどれほど素晴らしいか、また贖いへの感謝を生き方にどう表せるかをよく考える。
- (3) 記念式のキャンペーンにできる限り参加し、知り合いや親族や区域の人たちを特別講演と記念式に招待する。
- (4) 記念式に来た人たちを笑顔で温かく歓迎する。自分が招待した人だけでなく、キャンペーンで記念式のことを知って来た人にも気を配る「一緒に座りませんか」と声を掛けることもできる
- (5) 出席した人から何か質問されたら、喜んで答える。
- (6) 集会や伝道を休んでいる人が出席していたら、心から歓迎する。長老たちは特に、会衆から除かれた人を温かく迎えるようにする。



「イエスは『失われたものを尋ね求め、それを救うために来た』」 [動画を再生する。](#) ⇒ 次の質問・集会や伝道を休んでいる人が記念式に来た時、温かく迎えることが大切なのは どうして ですか ⇒ 記念式に行っても無視されて直ぐに帰らなければならないことを心配したが、実際には家族のように迎えられ、喜びを得て、エホバの家族に戻る力をいただくことができた。

8. 会衆の聖書研究 (30分) 大レッスン 72-73 大谷正 | 米山英行

閉会の言葉 (3分) | [134番の歌](#)と祈り 伊藤勇一

^ ([イザ 48:1-49:26](#)) ヤコブの子孫よ、これを聞け。イスラエルの名を名乗り、ユダの泉から出た*人たちよ。エホバの名に懸けて誓い、イスラエルの神に呼び掛けるが、誠実さや正しさに欠ける人たちよ。2 彼らは聖なる都市の住民を名乗り、イスラエルの神に支えを求める。その神の名は、大軍を率いるエホバ。3 「私は以前*の事柄をずっと昔に告げた。それは私の口から出ていき、私はそれを知らせた。突然、私は行動し、それは起きた。4 私は、あなたが非常に頑固で、あなたの首筋が鉄、額が銅であることを知っていたので、5 ずっと昔に告げた。それが起きる前に、あなたに聞かせた。あなたがこう言えないように。『私の偶像がこれを行った。私の彫刻像と金属像がこれを命じたのだ』。6 あなたはこの全てを聞いて、見た。それを広めないのか。